

1978年のゲームサウンド再現計画～最終章～

“基板Z” SMS-ALL-HYB Rev.0.0.2

お買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

基板Zこと型式名 SMS-ALL-HYB は、インベーダーゲームのオリジナル回路を可能な限り再現し、オリジナルに近いサウンドを出すことを目的としていますが、実際の基板や筐体とは異なります。特にスピーカーやアンプ、部品の品質などの環境が異なるため、完全に同じ音が出るということではありません。どうかご了承ください。

この基板は製作キットですので、部品は実装されておりません。また、詳しい説明はついておりません。部品と部品表が付属しますので、基板のシルク印刷に合わせて部品をとりつける、抵抗器やコンデンサの種類や定数の読み方がわかるレベルの電子工作に関する知識と、相応の工具が必要です。

組み立て方の図解入り説明書、回路図やサポート情報はWEBサイトで随時公開していきますので、製作開始前にぜひご参照ください。

<https://bonezine.web.fc2.com/SpaceMonsterSound.html>

なお、部品セットのパッケージングには慎重を期しておりますが、何せ手作業でひとつひとつやっておりますので、不足等がありましたらBOOTHのメッセージかTwitterのDMでご相談ください。

※組み立て作業およびその後の運用に際して、当方は一切の責任を負いません。購入者、利用者、ご自身の責任においてご利用ください。

- ご注意ください -

・今回の配布基板に付属する JST-XH ハーネスのうち、両側 2P 及び両側 5P タイプは、お好きな長さで切断してお使いください。また、**ケーブルの配置が左右対称になっていないものがあります。ケーブルの色とピン番号の関係をお間違えの無いようにご注意ください。**あらかじめ確認をお願いします。左右の配置が同じピンアサインになるようにコンタクトを付け直してやるのもいいかもしれません。

・電源は 12V の安定化された DC 電源を使ってください。**逆接続対策がついていませんので十分に気を付けてください**（基板上に逆接続防止のダイオードを挿入できるパターンを用意してありますが、部品は付属しません）

- TIPS -

・オーディオ出力はモノラルで、オーディオラインレベルで出ています。音量は基板上についている半固定抵抗を回して種類ごとに調節ができます。

・サウンドを出すトリガー信号の入力はすべて負論理：ローアクティブで、5V でプルアップされています。5V 系ではない 3.3V のマイコン等のデジタル I/O 出力を直接接続してはいけません。（説明書と回路図を参照してください）

・何も接続しない状態で電源を入れると一瞬サウンドが出ますが、仕様です。

煩悩産業 Bonezine

Twitter : @Bonezine

BOOTH : <https://bonezine.booth.pm/>

ホームページ : <https://bonezine.web.fc2.com/>

2021年9月1日更新

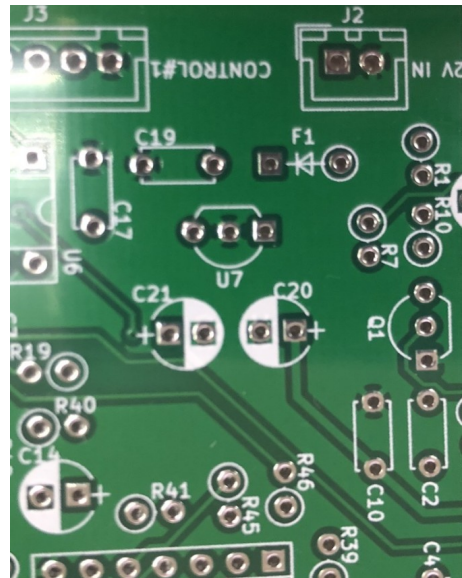
【お詫び】 78L05 の取付向きに関して

U7 三端子レギュレーター 78L05 について、Rev0.0.2 の基板上のシルク印刷に誤りがありました。

シルク印刷の通りに取り付けて通電すると正しく動作せず、78L05 が壊れてしまう場合があります。

シルク印刷とは前後逆の向きに取り付けるのが正しい取り付け方になります。

ご迷惑をおかけします。



【ご注意】 付属のハーネスに関して

本キットに付属している JST-XH ハーネスは必要に応じて切断してお使いください。汎用品のため、ロットによってはコネクタのピン番号に対してケーブルの結線の順序が逆、または左右対称になっているものが含まれています。

特に 2P のケーブルについては赤と黒のケーブルなのでそれぞれ電源の (+) と (GND) を想起させますが、**逆に配置されている場合そのまま使用すると電源を逆接続してしまう危険があります。**

以下に、本キットで使う場合の赤 (+) と黒 (GND) の配置を画像にて示しますので、これと同じ結線になるようにコンタクトを入れ替えるか、注意ぶかく間違えないようにお使いください。

コンタクトの外し方については動画サイトなどで検索してみてください。

